

# 永琳

《東方少女催眠》

Adult Only  
18歳未満購入禁止

永琳

東方少女催眠

CHIRIAKUTA 2009 SPRING



ふるふる...

する...

まだ、  
私は大丈夫

確かに今の私は  
体も、  
その動きも、

私...  
何を  
して—

は...

あ...

これ、は...



私を司る  
この頭脳の、

自由には  
ならない

それも、  
一番強力な  
モノじゃない...

隠して持っていた  
催淫剤—

その思考  
さえ





そもそも

この程度の責めがどれ程の事だろう

永遠を生き続けた私の精神に

これくらいのことはいらない



こんな薬を取り出したのは

そう、ただの確認



こんな薬を使つては、ためだ

私は耐えられる

だから、ためだ



いつでも楽になる事が出来る

それならまだ耐えていけるからと

逃げ道がある事を確認したかっただけ



# 永琳

『東方少女催淫』











でも…  
上のおクチが  
いっぱいにな  
ると…

こっちの  
おクチも…  
余計に  
さびしく  
なっちゃう  
んです…♡

私たちの  
おクチ全部  
ご主人様の  
おちんぼ穴に…

下の  
おクチも…  
後ろの  
おクチだって…

とろっとろに  
トロけて  
ますから…

オナニー道具に  
してえ…♡



ご主人様の  
おちんぼ汁…

いっぱい  
射精して  
ください…♡



お薬で処女に  
戻した  
おまんこ…  
ぶっといチンポで  
イッキに掘げられ  
ちゃったあ…っ♡



痛いので…  
それで…っ♡  
それが良くて  
イっっちゃっ  
たあ…っ♡

ああん…っ  
ご主人様あ…

こっちの穴も  
トロトロ  
ですよ…っ？





ハアアア...

アハハ...

ヒュッ

ヒュルッ

ヒュッ

ヒュッ

ヒュッ

全部の...

ヒュルッ

ヒュルッ



らめえ...っ  
コレえ...  
オチるう...っ♡

もう  
随ちちゃって  
るのに...っ

更に...  
随ちちゃい  
まひゆう...っ♡



永遠亭



だめ...  
また...  
キチン...  
〜サン...



他の全てが  
どうでも良くなって  
ただしたいだけの  
獣になって...

どんな夢を  
見ているのかしら?



うふふ...  
これまで  
あなたに使わせて  
いた物とは  
大違いでしょう?













空中に  
無駄な射精  
しちゃうの  
かしら...?

足で虐め  
られて...  
こんな事で...

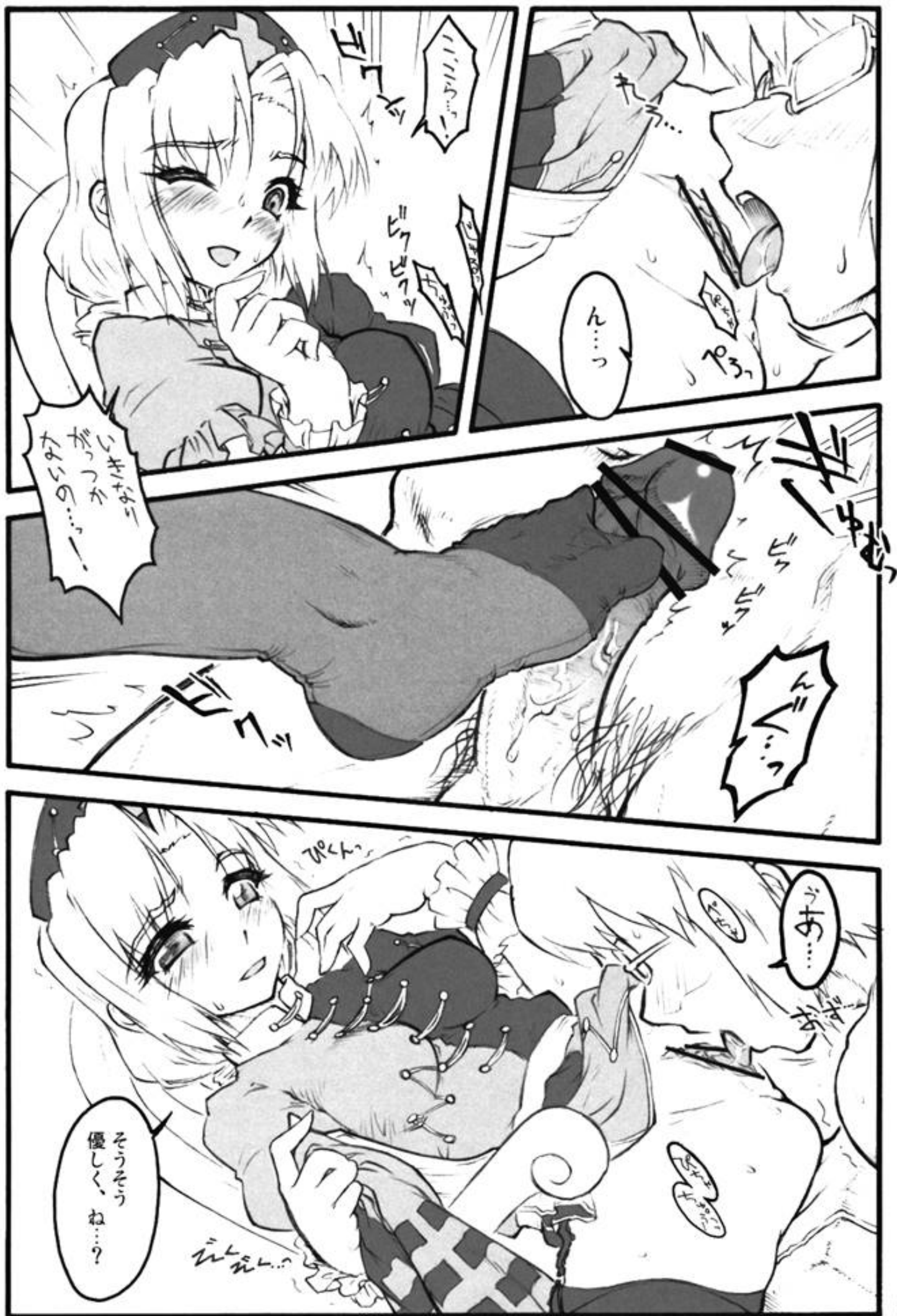
もう  
いきそうなの？

ビクビクって  
ふるえて...

ほら  
...かきかき

入ってたかったら  
自分で準備  
しないかね？







ゆだ...  
このまま  
イカされ  
ちゅらんじゅ...っ♡



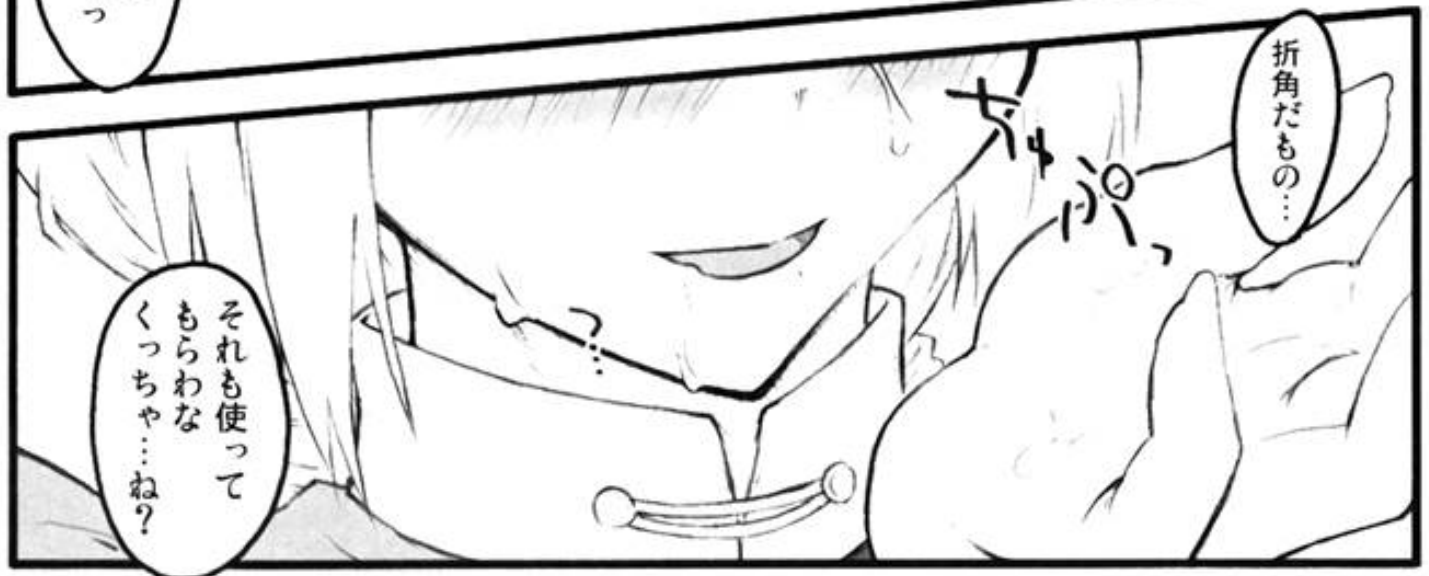
ほう...っ♡

上手に出来た  
ごほうびよっ!?



わっ♡

すごい...っ♡  
まだこんなに  
射精る  
なんて...っ♡





もう…  
 こんなに  
 熱くして…♡



おとなしく  
 なさい

ほら…



もう限界…っ

直接味わわせて  
 もらうわね…♡



は…♡  
 舐めているだけで  
 トぼされて  
 しまいそう…っ









スゴい...  
いいわよ...  
あ...?

あ...??

来る...??  
来るのね...??

ビク

体ごと浮かされ  
ちゃうう...??

長いのが奥...  
突き上げてる...??

ドチュ

ガク

いいわよ...  
あなたが  
射精するので...  
私も一緒に...??

これじゃ...  
すぐにい...??

ドチュ







私の…体…  
どうなってる…?

この効果は…  
まさか…

嘘…

そんな  
はずは…



え…っ?  
何…っ?  
これ…っ!?

ん…



あ…

!?



んとか、  
戻ってこられた、  
かな?

っ!!  
あなた—!?

意識が  
戻って…!?



どうして、私に効い



何を、どうして...  
いえ、それよりも



悪いけど、まだ頭がはっきりしていないんだ

先に少しすっきりさせてもらおうよ



こんなはず...!

体中がほてって...

さっきまでの何倍も敏感に...

ズンズンズン

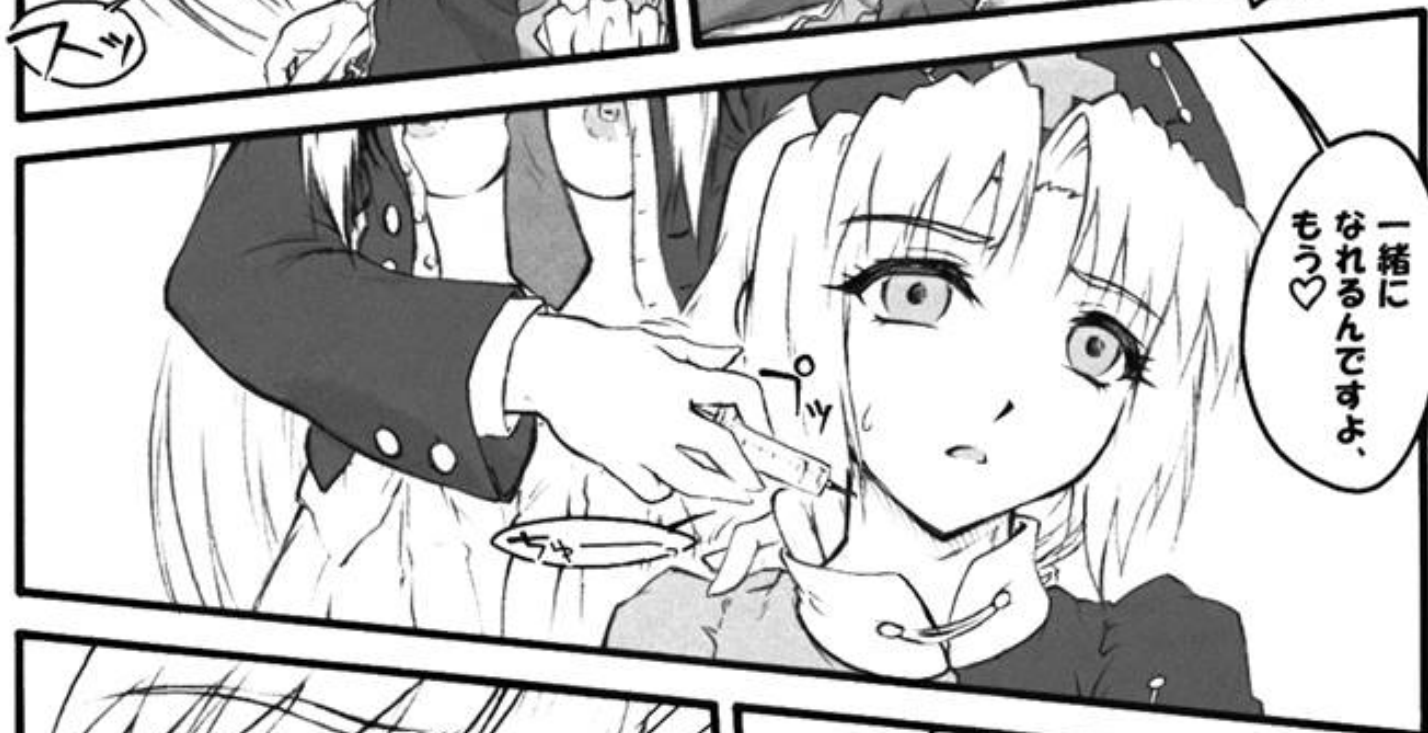


待ちなご

これは...

な...  
なんでこんな...

あの薬の...?



何っ  
これっ

体…  
服とっ  
空気とっ

擦れ…  
だけてっ

私たちの  
そういうのは  
全部——

あーっ!!

あーっ!!  
あーっ!!  
あーっ!!  
あーっ!!  
あーっ!!

イク…っ  
いったのに…  
またイクて…っ

イクと  
動いちちゃってっ  
擦れてまた…っ

止ま、らな…っ

ご主人様を  
愉しませる為にしか  
使えなくなっ  
てるんですから♡

あーっ!!  
あーっ!!

あの娘の  
所へ…っ

あーっ!!  
あーっ!!

だめ…  
だめよ——  
戻らなきゃ…っ

輝…  
夜——

あーっ!!  
あーっ!!





あれから、  
私は

ほう、  
だんだん痛みも  
クセになって  
きたでしょ？

何度も  
何度も  
犯された



大丈夫よ、  
あなたも気持ち  
良くなるわ

何度も

薬で張り替えた  
処女膜…

自分から  
なんてえ…

破れたばかりの  
裂け目なのに…

カリが  
掻き寄ってる…

私みたいに  
ねー

私の薬で  
萎える事を忘れた  
男根をねじ込まれ



私の薬で  
媚薬化した精液を  
注ぎ込まれた

また…  
臍内に…



よかったわね、  
いっぱい出して  
もらえて

その効果で

うす...  
あ...

中出しされて...  
イっちゃっ  
たあ...

グイッ

私は、  
彼や彼女の達の  
言いなりに  
なってしまう

?



それじゃあ、  
もう一度ここで  
注射するわね

たどえ  
言付けられ  
なくても

え...?  
痛...

昂ぶの続ける  
体は私の言う事を  
聞かず



処女膜...  
再生と...

私の心を苛む

精液出せなく  
かす...  
Mmm...  
Mmm...



駄目…っ  
耐えなきや…っ

薬で変質した  
彼の体液で  
うとんげは  
彼の奴隷と  
化していた

でもそれなら  
うとんげも  
この娘達も

でも、いいな—  
最近はこいつに  
かかりきり  
じゃないか…

イカされ  
ちゃったら…  
もっ…っ

でも…  
このままだに  
出されたら…

我慢なんてえ…っ

—彼も

まだ我慢  
出来るのか？

いいかげん  
諦めたら  
いいの…



じゃあ今回は  
魔理沙に出して  
あげようか？

ホントか？

更に上位の  
存在として  
調査した私に  
なぜ逆らえる  
のだから

え…っ？



考えたくはないが

彼や彼女の体内を巡るうち

あ……っ

あ……っ



ご主人様っ♡

どうか私に精液くださいっ

魔理沙の顔でも体でも……お好きなように……♡

なぜ彼の体液が私に効くのだろうっ？



私の力が及ばない程の変質が薬に起きたのだろうか

ん？  
何か言ったか？

別に何も……

——魔理沙の体——

彼が休んで  
いる時でも

ほう、早く  
歩いてください？

折角ご主人様が  
外出を許して  
くださった  
のでしょう？

彼の精を受け  
その奴隷と  
なった彼女達が

はい…  
はい…

どうじゃない  
でしよう？

あなたは今  
ウサギさん  
なんだから♪

彼女達が  
された事を

私に  
返すよじら

あら、でも  
死んで何で  
鳴くのかしら？

ふふ、じゃあ  
語尾に「びょん」  
って付けま  
しょうか？

—私を責めた

はい…  
はい…  
う…  
びょん…



それじゃあ  
ウサちゃん  
ちんちん♪

死ぬことを  
忘れた  
私の体は

…え？

ほら、ご主人様の  
おちんちん欲しい  
んでしょう？

だから、  
ちんちん♪



ご主人様の  
おちんちん様が…

欲しい…  
びゅん♡

そしてあの時の  
うごんげの  
言葉通りに  
それに順応  
している



どんな責めにも  
どんな行為にも  
大量の薬にさえ  
耐えて

うん…

は…  
はいびゅん…

でも、それは

ほう、早く出してさっさとくたせー

……!!

もとはと言えは永琳さんがいけないですからあ?

準備くらいちゃんと自分でしておいていただけないと…

この後の掃除も私がするんですよ?

そんな事はただそれだけの事だ

だ…だめ…っもうだめ…っ

これくらい、あの月での暮らしに

心を磨り潰す長い時間に比べれば

とれほどの事だろう

おね…がい…トイ…レ…に…っ

だめですよ

ちゃんとキレイになったか確認するよに言われてるんですから…







また私に…  
催眠を…っ

—だから

大丈夫  
だから

はっ



うごんげと  
一緒に  
牽仕して…

う…?

だ、大丈夫  
ですかっ!?

はい、  
ご主人様

流石に限界  
のようだし、  
少し休憩に  
しようか

私は、  
耐えられるから



だから、

また二人一緒に  
可愛がって  
貰いましょうね

それじゃあ  
師匠











子... 直挿...

たから... 精液... くださる...

ガッ  
ガッ

ん... 挿入... 挿入...



また!!

輸卵管に... 注射...

また!!

誘発剤で... 排卵しまりの...

卵巣から... 出て来たばかりの... 卵子を...

挿入... 挿入...

挿入... 挿入...





は…  
あ…っ♡

「これなら…  
絶望い…」

ご主人様の  
赤ちゃん…

妊娠  
しました…っ♡



私…  
やっと実感  
出来ました…

は…

ご主人様の  
奴隷になれて…

もう…  
今までの私とは  
違うんだって…♡



みんなと…

皆様と…  
あの娘達と…

この子と…  
この子を授けて  
くださった  
あなた…

ご主人様と…  
ずっと…っ!!



そう、  
これからは…  
私を通り  
過ぎていく  
ものばかり  
じゃない  
す…

共にゆく  
未来を…

私も…っ!!

は…♡

To Be Continued …?



